

経済倶楽部便り

◆東京◆ 4月は異動の季節です。新しい制服を着こなした新人とおぼしき人たちに出会う機会も多くなりました。ビジネス界では初の女性頭取が話題ですが、出版界では女性編集長が珍しくなくなりました。『週刊東洋経済』も3月に初の女性編集長が誕生。(外形は長身瘦軀ですが)脂の乗った42歳。誌面作りの新基軸に、従来以上にご期待ください。なお、当倶楽部も事務局長が4月1日付で日暮良一に交代しました。今後ともよろしく願います。

4月の講演会は、伊藤隆敏・東京大学大学院教授、吉崎達彦・双日総合研究所副所長、高原

明生・東京大学大学院教授、中岡望・東洋英和女学院大学副学長をお迎えします。(塚田 紀史)

◆中部◆ 3月中旬に2014年の公示地価が発表されましたが、驚いたことに名古屋駅の太閤口側が値上がり率で全国1位に。太閤口側とは、東京からの下り新幹線で駅の左側。これまで開発が進まず、家電量販店やビジネスホテルなどが雑然と並ぶ場所です。そこがなぜ。理由は「リニア新幹線駅周辺を主体企業が購入しているため」(地元研究所幹部)とのことです。駅の反対側では数棟の高層ビルも建設が加速。名古屋の再開発もいよいよ本格化しだした感じですよ。4月の講師は朝日新聞特別編集委員の星浩氏と野村総合研究所上級コンサルタントの風間智英氏を予定しています。(日暮良一)